

## MAK 記事 3

2007年9月12日

### ロウルデス ラモス ; 脂肪幹細胞移植後、より快適な生活を送る マリテス A. カハンサー

5年前、私は「ザ・メントル（良き指導者）」（カハンサー、2002年）という題の初めての小説を発表した。この小説が感銘を受けたのは、衰弱する障害-アルツハイマー病に患っている主人公に治療を提供する未来的な人間遺伝子療法だった。当時私にとって、アルツハイマー病のような変性障害の幹細胞治療はまだフィクションの領域だった。5年後、私はそれが現実になると予測した。それは2002年の事だった、だが今日、ここフィリピンで幹細胞移植、特に脂肪幹細胞移植を受けた患者が多数いると知って驚いた。本当に、私の予測は現実となったのだ。

成功した女性実業家で脂肪幹細胞移植を受けたロウルデス・バルベロ・ラモスに会った時、37歳（現在の56歳だが、10年若いと感じる）ときから糖尿病を患っているという事実にもかかわらず、彼女がエネルギーを発しているように感じた。私は、脂肪幹細胞や移植が彼女の私生活にもたらしたもの、さらにこれまで老化防止技術を通じてより良い人生を探してきた50年代および60年代の人たちにとって

いかに技術が進んだかなどについての彼女との会話は私の人生で最も魅力的な会話だった。私は、老化についての全く新しいパラダイムや、年配の男性や女性に若者の特徴であるエネルギー、熱意、一般的な幸福の感覚、健康および情熱があれば、彼らが達成できることについて学んだ。

ロウルデスは、軍人や船員の財政的ニーズに応じる GLOGOLD 金融会社の取締役副社長でゼネラルマネージャーである。彼女は 37 歳のときから糖尿病を患い、老化防止技術と治療を通じて自身のためより良い生活を求め始めた。彼女は充実した人生を大切にし、現在既に中年にさしかかっているが、追求したい大きな計画と夢がまだあり、全く引退という考えは無い。

2006 年 7 月、アジア形成外科センターの形成外科医フロレンシオ・ルセロ博士が行っている脂肪幹細胞移植を耳にした。彼女は興味を持ち、老化防止処置のリスクと同様、利益について形成外科医に説明を求めた。彼女は、脂肪幹細胞移植に関する自身の研究と質問の後、その有効性を確信した。彼女は手術のため 25,000 ドル払った。

ロウルデスは、「私は脂肪吸引や脂肪幹細胞移植のために支払う金額と同程度に、人体構造を経験したほうが良いと決断し、身体的強化を図るため形成手術を受けることに同意した」と言う。

このようにして 2007 年 1 月 11 日、ロウルデスはルセロ博士による脂肪幹細胞移植を受けた。フィリピンの主導的形成外科医の 1 人で脂肪派生幹細胞移植の専門家であるフロレンシオ・ルセロ博士によると、プロセスは以下の通りである；

患者の脂肪細胞（脂肪組織）から低侵襲性脂肪吸引を通じて休止中の大人の幹細胞（ASCs）100cc を収集する。その後、収集した脂肪派生休止中 ASC を 1 時間無血清培養基で培養する。これによりその後静脈注射で末梢血液を通じて患者に戻す休止中 ASC が目覚め、起動する。局所麻酔を受け病院の無菌手術室で行われ、全ての手順は 4 時間で終了する。ASC 収集に 1 時間、分離に 1 時間、培養に 1 時間、患者に静脈注射で戻すのに 1 時間かかります。

ロウルデスは、人体構造のため体の部分的形成手術も受けたため 4 時間以上手術室に留まらなければならなかった。通常、脂肪幹細胞移植手順全体は 4 時間程度です。

移植 8 カ月後、ロウルデスは生活の質の著しい変化を感じた。

彼女は、「私が最初に気づいたのは、忘れっぽく無くなったということです。私はメイドに電話して、彼女に伝えたいことを忘れるということが良くありました。でも今は、私の心は鋭くなりました。脂肪幹細胞移植の良さを認めるのは、記憶と考え方への影響でした。多忙な女性実業家として鮮明な記憶と批判的思考が必要だが、最近私は、記憶力が良く考えが早くなった」という。

2007年3月ロウルデスは米国に行き、友人とショッピングに出かけた。彼女はその時の経験について、

「3月のアメリカ旅行で友人は、私が限りないエネルギーを持っていると気づいたという。私たちは買い物を楽しみ、多くの場所を訪ね友人は非常に疲れたと言いますが、私がまだ疲れを知らず動き回っていたため友人達は非常に驚いたようだ。実際、私がもう一度買い物に行ってくると言った時、友人達は「ロウ、あなたは幹細胞移植が働いていると言い、私はその通りだと言った」と語った。

ルセロ博士によると、「アクティシステム」脂肪幹細胞老化防止技術の利点は非常に多いという。患者は一般的に、40代後半あるいは60年代かもしれないが、多くの活動を達成できる新たな活力とエネルギーを感じるという。自然な経過を辿ることにより、患者の体に再注入された幹細胞は、老化した細胞あるいは傷ついた細胞と交代する、または幹細胞が心臓、肝臓、骨細胞のような他の新しい組織になると考えられている。プロセスは患者にとって明らかではないが、患者が感じるのは健康という一般的な感覚で、患者は実際の年齢より10歳若く見える。

脂肪幹細胞移植によるロウルデスへの別の贈り物は、注射しなければならなかったインシュリンが減少したことだ。以前は40ユニット必要だったが、現在は14ユニットに減少した。彼女は、依存していたインシュリン注射の量が減り、労働日に並べられた多くの活動を消化する多くのエネルギーを感じた時、これは天の恵みだと思った。それは脂肪幹細胞移植が糖尿病や他の変性障害を抑えるのかもしれない、実際、（老化防止治療を除いて）健康療法や再生医療にとって多くの希望がある分

野である。

脂肪幹細胞移植の詳細については、ウェブサイト [www.stemcellphil.com](http://www.stemcellphil.com) か、携帯電話 0917-523-4912 にお問い合わせ下さい。